

2019年8月7日

NHK長崎放送局

支局長 遠藤 理史 殿

長崎県保険医協会

会長 本田 孝也



## 番組「焼き場に立つ少年」をさがして、の不適切報道の訂正ならびに視聴者への説明を求めます。

貴局は7月26日に「もういちど“長崎の原爆”をみつめる「焼き場に立つ少年」をさがして」を放送しました。故ジョー・オダネル氏が撮影した写真「焼き場に立つ少年」をテーマにした番組です。

当会は本年6月に貴局からの少年の素性或撮影場所に関する情報について取材をうけ、以後調査に協力してきました。しかし、放映された番組を見て驚きました。

少年の被爆した場所に関する極めて重要な住民の証言シーンでは、住民がしゃべったのと異なる「親子で長崎（中心部）のほうに左官の仕事で引っ越した」という字幕が流れました。

この点を番組プロデューサーに正すと「持ち帰ります」との返事だけで、その後何の連絡もありませんでした。翌日の同番組をテーマとしたニュースでも訂正はありませんでした。8月3日の番組の再放送では字幕は「親子で長崎（中心部）のほうに左官の仕事で行っていた」と修正されていましたが、修正の説明はありませんでした。

番組の報道内容は吉岡栄二郎氏の『『焼き場の少年』は、何処へ』による所が多いにもかかわらず出典の説明が不十分で、視聴者に NHK が事実を発見したかのような誤解を与えかねません。さらに、少年は戸石村の海辺で被爆したのではないかという吉岡氏の記述を情報提供しましたが、番組ではカットされ、爆心地付近で被爆したのではないかという推測だけが取り上げられています。

番組では上記を含め多くの誤り、不適切な内容を含み、該当箇所が多いので別途意見書にまとめました。このままでは、誤った事実が真実として流布し、後世に伝えられる危険を含んでいます。

当会は貴局が本番組の誤りを速やかに訂正するとともに視聴者に説明し、公正、正確な報道に努められんことを求めるものであります。

以上